

清水地区まちづくり協議会

まちづくり計画



pixta.jp - 20926137

ハートでつなぐ清水のまち

平成 29 年 5 月

はじめに



清水地区まちづくり協議会は、平成25年7月26日、清水公民館大会議室において、野志克仁松山市長ご出席のもと準備会設立総会が開催され、同年8月8日に準備会設立の承認により、松山市内で15番目の設立となりました。

総会では、市長が祝辞のなかで、「清水地区の皆さんが一致団結して、さらに魅力ある住みよいまちづくりが始まることを期待します」との激励のお言葉を頂きました。

準備会設立後はアンケート実施、小委員会、全体会議の開催、学生のまち金沢市から講師を招いて学生生活活動のあり方等勉強会を開くなど、協議会設立に向けてまちづくりの基本的な勉強を重ね、地域住民、各団体、企業等の協力もあって、平成26年4月15日に清水地区まちづくり協議会の設立となった次第です。

設立後は市長から頂いたお言葉に少しでも近づけるように、毎月役員会を開催、まちづくりの取り組み方について意見交換を行ない、まちづくり各部局（学生生活活動局・福祉部・環境部・安全安心部・地域振興部・教育文化部・広報部）は研修、立案、実施と努力を重ね、事業を実施するなど、一步一步着実に踏み出しております。特に大学生は学生生活活動局を立ち上げ、愛する清水地区の建設に向けて協力していただいています。

今後は、この『まちづくり計画』に基づき、地区住民が主体となって各団体、企業と連携を密にし、また、皆さんのご協力とご理解を得ながらまちづくりを進めてまいります。そして、地区の子どもたちも楽しく参加、研修ができ、健やかに育むことができる環境づくりに取り組んでまいります。

清水地区まちづくり協議会
会長 村上建一



松山城天守閣から見た清水地区全域

清水地区の概要

清水地区は、人口26,833人、世帯数16,070世帯(平成29年4月1日推計)、32町からなる広大な面積を持ち、松山城の北側に位置し、愛媛大学・松山大学・松山赤十字看護専門学校・松山北高校・勝山中学校・清水小学校・姫山小学校など大学、専門学校、高校、中・小学校がバランスよく配置された文京地区です。

歴史的には、松山城築城の最高責任者であった足立重信の墓地を始め、日露戦争で捕虜となったロシア兵を温かく迎え、この地で亡くなられた方を手厚くお祀りしているロシア兵墓地があります。このほか父親が愛し育ててきた桜の花を、その子どもが父親の死の直前に花を見せたいと願い水垢離(みずごり)をして旧暦の1月16日に開花させたといわれている十六日桜、放浪の俳人山頭火が亡くなるまで住んでいた一草庵、そして、それぞれ由緒ある歴史を持つ多くの寺院等々数多くの文化遺産を持つ地区であります。

まさに躍動する新しい町と歴史の町がうまく融和し発展しています。景観的には、城山の北側を通る1.8kmの直線道路、平和通りには日本並木百選に指定された銀杏並木があり、その両側の歩道には松山が生んだ俳聖正岡子規などの句碑が21か所設置されていて、句を詠みながら往時の文学にひたりながらの散策も風流です。秋には、黄金色に輝く銀杏並木は市民の目の保養場所ともなっております。

また、清水地区のほぼ山沿いを東西・南北に流れる大川沿いには、史跡、文化財、伝説の宝庫となっており恵まれた地域となっています。さらに、四国八十八か所巡礼のへんろ道ともなっています。昔は、山越地区は田園地帯でしたが、現在は新興住宅が建ち並ぶなど発展しています。



ロシア兵墓地



平和通の銀杏と子規の句碑

■まちづくり協議会とは

まちづくり協議会とは、地区の様々な地域団体や組織がつながり、その中で話し合いながら、現状の把握や課題を抽出し、考えられる対策等を取りまとめ、活動を行う住民自治組織です。

■まちづくり計画とは

まちづくり計画とは、まちづくり協議会が地区の現状と課題を踏まえ、地域資産(歴史的、文化的、人的資産等)の活用や地域課題の解決に向けた取り組みのほか、行政との協働に関する取り組み等を示す計画のことです。

取組期間

- | | |
|---------------------|---|
| ・短期 1～3年を目標に取り組む事項 | ・短期 資料の作成を終了させるよう計画する。
資料の更新、補正、周知を行う。 |
| ・中期 4～6年を目標に取り組む事項 | ・中期 下記のとおりを予定とするが、変更もありうる。 |
| ・長期 7～10年を目標に取り組む事項 | ・長期 同 上 |

役割分担

- ・住民 住民が主体となって取り組む事項
- ・協働 住民と行政が組織して取り組む事項
- ・行政 行政が主体となって取り組む事項



地域づくり支援セミナー

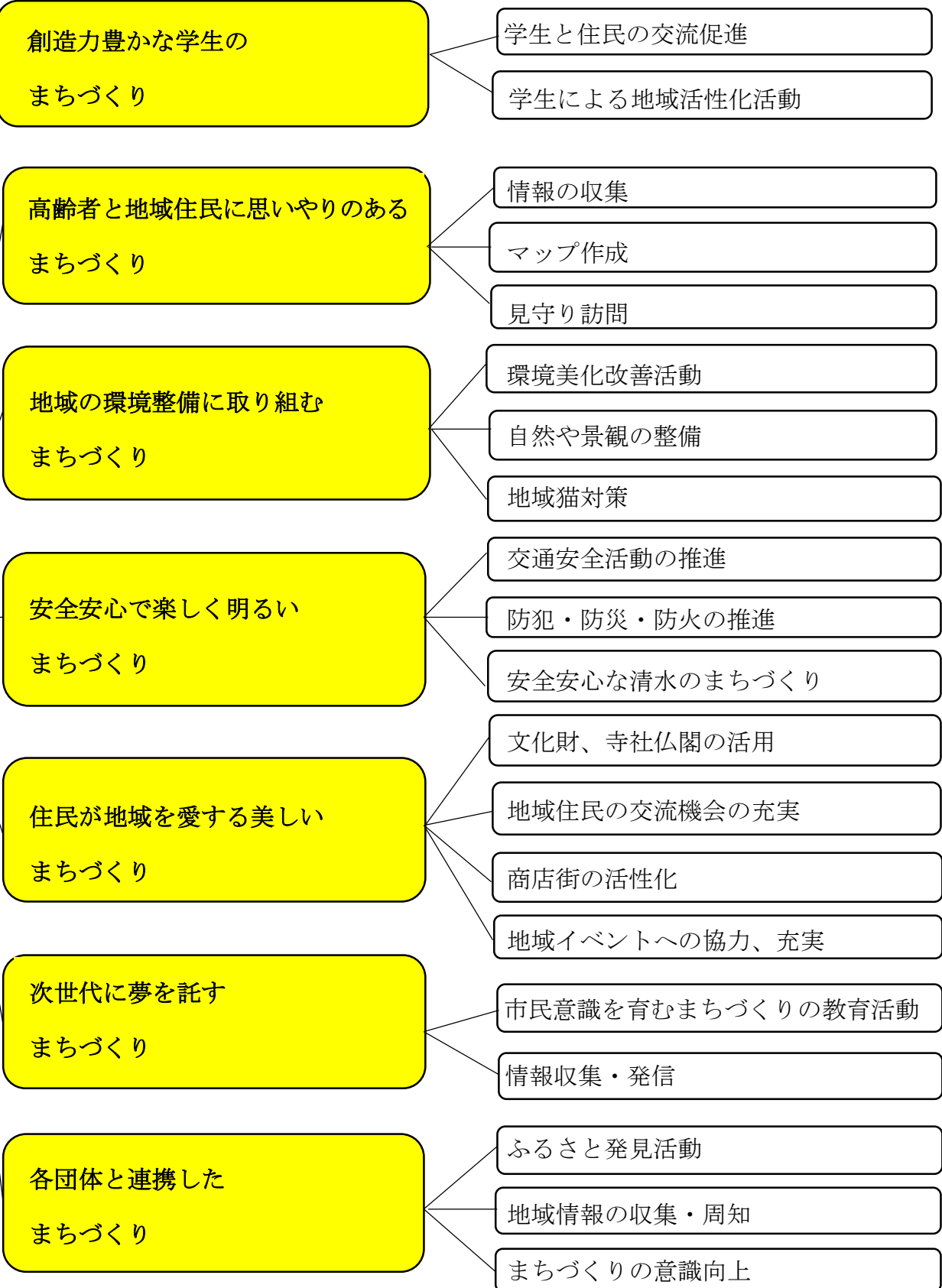
清水地区まちづくり計画 体系図

清水地区まちづくり協議会は、地域住民が主体となり、愛着と誇りを持てるまちづくりを推進するため、下記7つのテーマとテーマごとに重点目標を掲げ、協力して取り組みます。

(7つのテーマ)

(重点目標)

ハ
ー
ト
で
っ
な
ぐ
清
水
の
ま
ち



清水まちづくりの実施計画（部会別）

学生活動局

創造力豊かな学生のまちづくり

若者代表として、学生が地域づくりに参画することで、若い発想と行動力をもって地域活動の活性化が図られます。また、学生にとっても住民との交流・連携は、今後の人生において大きな糧となります。

	期 間	役割分担
学生と住民の交流促進		
交流イベントの開催	短 期	住 民
学生による地域活性化活動		
Facebook 等による情報発信	短 期	住 民
まちあるき	短 期	住 民
勉強会	短 期	住 民



芋炊き、バーベキュー交流会

福祉部 高齢者と地域住民に思いやりのあるまちづくり

清水地区住民が、すぐわかる、今知りたい、必要な資料を提供するため、下記の具体的項目について調査、収集を行います。

実行するにあたっては、幅広い地域住民の協力が必要であり、関係部門と協議し、決定したいと考えており、各部の協力と積極的参加をお願いします。

	期 間	役割分担
情報の収集		
地域内の世帯数、人口構成	短 期	協 働
医療 介護施設 障がい者施設	短 期	協 働
地域における各種行事实施状況	短 期	協 働
上記各項目資料の更新、周知、啓発	中 期	協 働
各災害時の避難場所の確保、周知、見直、改善	中 期	協 働
空家、老朽家屋の実態調査	長 期	協 働
マップ作成		
医療(病院)施設一覧表	短 期	協 働
高齢者、障がい者施設一覧表	短 期	協 働
教育、公共施設一覧表	短 期	協 働
スーパー等施設一覧表	短 期	協 働
上記項目の更新、改善、周知、強化	中 期	協 働
各家庭に必要な資料として配布	長 期	協 働
見守り訪問		
日常の見守り、監視を強化	短 期	住 民
訪問活動(チーム編成 2 名以上)分館単位を基本	短 期	住 民
情報の共有化を図り災害時等に対応する	短 期	住 民
新地域支援、包括ケアシステム事業へ能動的対応	短期～中期	協 働
地域の各所に相談窓口を設置し情報の提供	長 期	協 働



福祉マップ

清水地区は観光地としても素晴らしい町です。これを維持していくためにも地域の皆さんの環境に対する意識の高揚が求められています。

	期 間	役割分担
環境美化改善活動		
ごみ出しルールの周知	短 期	住 民
ゴミステーションの美化	短 期	住 民
リサイクル運動	短 期	住 民
公園の清掃協力	短 期	住 民
自然や景観の整備		
大川の清掃（ホタルの里づくり）	中 期	住 民
子規の庭の整備（平和通り）	短期～中期	住 民
地域猫対策		
地域内での啓発、合意づくり	短期	住 民
不妊去勢手術の実施 ※分館ごとに実施し、全体に広げていく。	短期～長期	住 民



子規の句碑

安全安心部

安全安心で楽しく明るいまちづくり

誰もが暮らしやすいまちは、安全安心が第一であり、そのためには、お互いの気配りや助け合いの精神が求められています。

	期 間	役割分担
交通安全活動の推進		
新年度の子ども見守り活動・自転車の乗り方指導	短期～中期	住 民
通学路の点検	短 期	協 働
防犯・防災・防火の推進		
夏祭り前の防犯運動・防災・防火の心構え	短期～長期	住 民
安全安心な清水のまちづくり		
住民が安心して暮らせるまちづくり、生活の応援	短期～長期	住 民



カーブミラーの手入れ

地域振興部 住民が地域を愛する美しいまちづくり

豊かな地域を創生するため、住民だけでなく地域で暮らしをともにする団体・企業と連携を取り、より良いまちづくりをすることが求められています。

	期 間	役割分担
文化財、寺社仏閣の活用		
パンフレット、マップ、案内看板等の作成	短 期	住 民
スタンプラリーの開催	短 期	住 民
説明映像の作成（QRコードで読み込む）	中期～長期	協 働
休憩所の整備	中期～長期	行 政
地域住民の交流機会の充実		
お花見会の開催	短 期	住 民
ホタル観賞会の開催	中 期	住 民
どじょう施餓鬼まつりの開催（復活）	短 期	住 民
商店街の活性化		
まちコン（コンサート）開催	中 期	住 民
食の開発	中 期	住 民
地域イベントへの協力、充実		
勝山フェスティバルの共催	短 期	住 民
各種地域イベントへの協力	短 期	住 民



どじょう施餓鬼

「住民主体のまちづくり」を実現するために、地域を知り、考え、アクションを起こす環境づくりが必要であると考えています。また、そこには、「これからの地域を担う」子ども達の存在は欠かせません。

そのため、「こどもが主体のまちづくり」の実現を目指します。実現のためには、行政、NPO、企業等の社会資源との関わりも重要です。そこで、これらの主体が集い、協働できるための場づくりを行います。

	期 間	役割分担
市民意識を育むまちづくりの教育活動		
小学生からのまちづくり講座の実施	短 期	協 働
こども局の設置	短 期	住 民
交流・協働イベントの開催	短 期	住 民
連携・協働のためのデータベースの作成	中 期	住 民
こども主体の活動へのシフト	中期～長期	住 民
地域が自立した活動体制の構築	長 期	協 働
情報収集・発信		
ホームページの開設	短 期	住 民



こどもタウン

広報部

各団体と連携したまちづくり

清水地区は大学から幼稚園まで教育機関に恵まれた地区です。また、歴史的にも遺跡、文化財が多くあり、文化的な町です。

これら地域の特性を生かし地域住民みんなで広報活動に努め、明るく、思いやりのあるまちづくりをしていきます。

	期 間	役割分担
ふるさと発見活動		
まちあるきによる歴史・文化の PR 効果点検	短 期	住 民
観光掲示板の作成(イラスト地図入り 1m×1m)	短期～中期	住 民
ものしりブック	長 期	協 働
地域情報の収集・周知		
イベント等を利用したアンケート	短 期	住 民
まちづくりだよりの発行	短 期	住 民
ホームページの開設(インターネット契約)	中 期	協 働
イベント参加(地域住民の行うイベント)	短 期	住 民
まちづくりの意識向上		
まちづくり講座の開催	短 期	協 働



作文コンクール表彰式